

眼科

■ スタッフ

科長	近藤峰生	
副科長	生杉謙吾	
医師	常勤	16名
	非常勤	4名
視能訓練士		6名

■ 診療科の特色・診療対象疾患

眼科の特徴

三重大学眼科では、現在、あらゆる眼科疾患（眼形成・眼窩疾患分野を除く）に対して、診断と治療をおこなっています。

初診外来は月曜日から金曜日の 8:30～12:00 で、予約制ではなく、また紹介状をお持ちでない初診患者さんの診察も受け付けています。特に火曜日と水曜日の教授外来には、難治性の網膜疾患の方を中心に全国から患者さんが受診されています。再来は予約制となっています。

三重大学眼科が得意とする疾患は、網膜硝子体疾患（糖尿病網膜症、網膜剥離、黄斑円孔、黄斑前膜などの診断と手術治療）、加齢黄斑変性（抗血管新生療法、光線力学的療法）、網膜変性疾患（網膜色素変性、黄斑ジストロフィーなどの診断とリハビリテーション）、角膜疾患（角膜外傷、角膜ジストロフィー、角膜混濁に対する角膜移植術）、涙道疾患（鼻涙管閉塞に対する内視鏡手術や耳鼻科との合同手術による涙嚢鼻腔吻合術・鼻内法）、緑内障（難治緑内障に対する手術治療）、白内障（小切開超音波白内障手術）、斜視・弱視（屈折矯正と斜視弱視訓練及び手術）、小児眼科（先天白内障、先天緑内障、未熟児網膜症などの小児眼疾患）、ぶどう膜疾患（サルコイドーシス、ベーチェット病、原田病など）です。

また眼科医が 24 時間 365 日院内待機をしている県内では数少ない病院の一つで、特に眼外傷の緊急手術など、眼科二次救急を担当しています。

■ 診療体制

主な専門外来

三重大学眼科では、特に専門的治療が必要な疾患、治療の困難な疾患、頻度の高い疾患については専門外来を設け、その分野についてのエキスパートが治療を担当します。

1) 教授外来

近藤教授の外来には、難治性眼疾患の患者さんをはじめ、全国からあらゆる眼科疾患の患者さんが受診されていますが、特に教授の専門分野は、網膜硝子体疾患、網膜の機能評価（臨床視覚電気生理）です。

2) 網膜硝子体外来

網膜剥離、黄斑部疾患（黄斑上膜、黄斑円孔、中心性漿液性網脈絡膜症など）、網膜静脈閉塞症、網膜動脈閉塞症、増殖硝子体網膜症、硝子体出血などの診断及び治療をおこないます。

3) 糖尿病外来

糖尿病患者を対象とし、糖尿病網膜症、白内障、続発緑内障などの糖尿病眼合併症の治療管理をおこないます。

4) 黄斑外来

最近、日本でも中途失明原因の上位となっている加齢黄斑変性という網膜の中心部に異常を来たす疾患を専門に治療する外来です。蛍光眼底造影検査などによる正確な診断と硝子体注射と呼ばれる眼内注射治療や光線力学的療法をおこなっています。

5) 緑内障外来

日本でおこなわれた大規模調査によると、40 歳以上の日本人では 20 人に 1 人の割合で緑内障患者が存在すると言われていています。また日本における失明原因のトップは緑内障です。緑内障外来では、最新の検査機器を使った早期診断から長期的な点眼治療、重症例に対する手術治療まで緑内障のトータルケアをおこないます。

6) 角膜外来

角膜感染症（細菌、真菌、ウイルスなど）、ドライアイ、円錐角膜、水疱性角膜症や遺伝性の角膜疾患などの診断と治療をおこなっています。特に角膜感染症の迅速診断や角膜移植治療を積極的におこなっています。

7) コンタクト外来

円錐角膜や角膜の強い乱視などの眼疾患があり、通常のコンタクトレンズができない方を対象に経験豊富な角膜専門医がコンタクトレンズの処方をおこないます。

8) 涙道外来

成人の鼻涙管閉塞症、乳幼児の先天鼻涙管閉塞症に対し、涙道内視鏡を用いた検査及び治療をおこなっています。また当院耳鼻咽喉科とも連携し、流涙症に対し顔に傷が残らない涙嚢鼻腔吻合術鼻内法をおこなっています。

9) 小児眼科外来

視機能発達の重要な時期にある小児が罹患する斜視、弱視、先天白内障、先天緑内障、未熟児網膜症などの疾患の診断、治療をおこないます。また視能訓練士という国家資格を有する6名の専門スタッフが丁寧に時間をかけて小児の検査・訓練をおこないます。

10) ロービジョン外来

現在の視機能を評価し、読み書きのための道具（ルーペ、拡大読書器、音声パソコンなど）の選定、白杖、日常生活補助具の紹介や身体障害者手帳申請の相談、視覚障害者用社会福祉関係の施設や職能訓練施設の情報提供などをおこなっています。ロービジョン外来は、完全予約制です。

■ 治療実績

1) 外来患者数

(人)

	22年度	23年度	24年度
総外来患者	24,352	26,935	30,071
総初診紹介患者	891	1,243	1,598
県外からの紹介患者	16	54	64
小児(15歳以下)の紹介患者	44	115	195

*特に平成24年度は眼底三次元画像解析検査8826件、涙管チューブ挿入128件などを外来にて施行

2) 入院患者数

	22年度	23年度	24年度
総入院患者(人)	10,117	9,038	8,487
平均在院日数(日)	7.0	6.6	5.1

*新病院移転に伴う個室・4床室の増加により眼科病棟は33床から28床に変更(24年1月)

3) 外来及び入院での手術及び眼注射件数

(件)

	22年度	23年度	24年度
総手術件数	1089	1339	1830
硝子体注射	530	661	796
テノン嚢注射	205	211	150

*総手術件数には硝子体注射及びテノン嚢注射を含まず。

4) 主な施行手術と件数

(件)

手術名	22年度	23年度	24年度
硝子体手術	157	213	278
網膜復位術	31	24	31
白内障手術	428	567	746
角膜移植術	1	21	21
緑内障手術	66	30	44
斜視手術	0	2	40

■ 臨床研究等の実績

当科からの論文発表や学会発表実績は以下の通りです。(平成24年度の代表的なもののみ掲載)

<英語論文>

●Muraoka Y, Ikeda HO, Nakano N, Hangai M, Toda Y, Okamoto-Furuta K, Kohda H, Kondo M, Terasaki H, Kakizuka A, Yoshimura N: Real-time imaging of rabbit retina with retinal degeneration by using spectral-domain optical coherence tomography. PLoS One. 7(4): e36135, 2012

●Omori Y, Araki F, Chaya T, Kajimura N, Irie S, Terada K, Muranishi Y, Tsujii T, Ueno S, Koyasu T, Tamaki Y, Kondo M, Amano S, Furukawa T: Presynaptic dystroglycan-pikachurin complex regulates the proper synaptic connection between retinal photoreceptor and bipolar cells. J Neurosci. 32(18): 6126-6137, 2012

●Iwata E, Ueno S, Ishikawa K, Ito U, Uetani R, Piao CH, Kondo M, Terasaki H: Focal macular electroretinograms after intravitreal injections of bevacizumab for age-related macular degeneration. Invest Ophthalmol Vis Sci. 53(7): 4185-4190, 2012

●Morimoto T, Kanda H, Kondo M, Terasaki H, Nishida K, Fujikado T: Transcorneal electrical stimulation promotes survival of photoreceptors and improves retinal function in rhodopsin P347L transgenic rabbits. Invest Ophthalmol Vis Sci(7). 53: 4254-4261, 2012

●Nojima K, Hosono K, Zhao Y, Toshiba T, Hikoya A, Kato M, Kondo M, Minoshima S, Hotta Y: Clinical features of a Japanese case with Bothnia dystrophy. Ophthalmic Genet. 33(2): 83-88, 2012

●Jones BW, Kondo M, Terasaki H, Lin Y, McCall M, Marc RE: Retinal remodeling. Jpn J Ophthalmol. 56: 289-306, 2012.

●Sugimoto M, Cutler A, Grossman G, Anand-Apte B: Regulation of retinal vascular permeability by betacellulin. Adv Exp Med Biol. 723: 293-298, 2012

●Nakaseko Y, Kamatani M, Kondo M, Uji Y, Sugimoto M: Complications Following Inappropriate Intravitreal Triamcinolone Acetonide Injection. Case Reports in Ophthalmological Medicine. 2012

●Ushida H, Kachi S, Asami T, Ishikawa K, Kondo M, Terasaki H: Influence of Preoperative Intravitreal Bevacizumab on Visual Function in Eyes with Proliferative Diabetic Retinopathy. Ophthalmic Res. 49(1): 30-36. 2013

● Masahiko Sugimoto, Mineo Kondo, Masayuki Horiguchi: Uniform Suspension of the Clustered Triamcinolone Acetonide Particle. Journal of Ophthalmology, 2013

● Yoshitsugu Matsui, Hideyuki Tsukitome, Eriko Uchiyama, Yuko Wada, Tatsuya Yagi, Hisashi Matsubara, Mineo Kondo: Peripheral capillary nonperfusion and full-field electroretinographic changes in eyes with frosted branch-like appearance retinal vasculitis. Clinical Ophthalmology 7; 137-140, 2013

<邦文書籍>

●近藤峰生: 網膜機能検査の威力. 専門医のための眼科診療クオリファイ 14 - 網膜機能検査 A to Z. 2-12. 中山出版. 東京. 2012

●近藤峰生: クリニカルクエスション 小児の ERG を記録するよい方法を教えてください. 専門医のための眼科診療クオリファイ 14 - 網膜機能検査 A to Z. 185-186. 中山出版. 東京. 2012

●近藤峰生: クリニカルクエスション 視力・視野異常の原因が不明のときはどう検査を進めたらよいでしょう? 専門医のための眼科診療クオリファイ 14 - 網膜機能検査 A to Z. 342-344. 中山出版. 東京. 2012

<一般講演>

●近藤峰生: 動物モデルの視力・行動実験・網膜電図(ERG). 第 116 回日本眼科学会総会. スキルトランスファー. 東京. 2012.4.6.

●築留英之、近藤峰生、名倉朋子、初川嘉一、島田真、阿部修司、西川正則、矢ヶ崎悌司: 小児期の視神経および眼窩開き角の計測. 第 37 回日本小児眼科学会総会. 名古屋. 2012.6.29

●近藤峰生: 小児の視機能検査. 第 37 回日本小児眼科学会総会. 名古屋. 2012.6.30

●近藤峰生: 眼疾患動物モデルの作製と視機能評価. 第 32 回比較眼科学会年次会特別講演. 名古屋. 2012.7.21

●生杉謙吾・築留英之・八木達哉・近藤峰生: 新しい 24 時間眼圧測定機能付きコンタクトレンズ Triggerfish® の使用経験. 第 23 回日本緑内障学会. 金沢. 2012.9.28

●松原央、田中利男、花園元、加藤久美子、松井良論、久瀬真奈美、西村有平、山本哲朗、近藤峰生: ゼブラフィッシュからの網膜電図の試み. 第 60 回日本臨床視覚電気生理学学会. 名古屋. 2012.10.5

●松井良論、永嶋竜之介、内山恵理子、八木達哉、築留英之、松原央、近藤峰生: 樹氷状血管炎の回復期に網膜周辺部に無灌流領域がみられ、ERG の律動様小波が消失した 1 例. 第 60 回日本臨床視覚電気生理学学会. 名古屋. 2012.10.6

●佐宗幹夫、松原 央、古田基靖、松井良論、山中恵一、水谷 仁、近藤峰生: アトピー性皮膚炎に伴う網膜剥離—20 年間の変遷—. 第 66 回日本臨床眼科学会. 京都. 2012.10.25

●生杉謙吾、築留英之、八木達哉、近藤峰生: 多剤併用療法患者におけるビマトプロスト点眼液への切り替え効果. 第 66 回日本臨床眼科学会. 京都. 2012.10.25

●松井良論、宮田真衣、松原央、近藤峰生、上野真治、加地秀、伊藤逸毅、寺崎浩子: AZOOR の初診時の SD-OCT 所見. 第 66 回日本臨床眼科学会. 京都. 2012.10.25

●築留英之、初川嘉一、近藤峰生、島田真、阿部修司、西川正則: 小児期の眼窩容積の計測. 第 66 回日本臨床眼科学会. 京都. 2012.10.27

●加藤久美子、高嶋祐布子、松永功一、近藤峰生: TS-1® による涙小管水平部閉塞症における涙道内視鏡併用シース誘導涙管ブジー法. 第 36 回日本眼科学術学会総会. 福岡. 2013.1.27

<シンポジウム>

●近藤峰生: 腫瘍関連網膜症における新知見. 第 116 回日本眼科学会総会 シンポジウム 11. 東京. 2012.4.6

●近藤峰生: 網膜疾患の自覚的・他覚的視野. 第 65 回日本臨床眼科学会 (日本視野研究会). 東京. 2012.10.7.

●近藤峰生: CRVO に対する網膜光凝固治療. 第 51 回日本網膜硝子体学会総会 シンポジウム 2. 甲府. 2012.12.2

<ミニシンポジウム>

●加藤久美子: 後天性 ON 型双極細胞機能低下症が疑われた 1 例. 第 60 回日本臨床視覚電気生理学学会. 名古屋. 2012.10.5

(その他の業績等は、下記の三重大眼科公式ホームページをご覧ください。)

<http://www.medic.mie-u.ac.jp/ophthalmology>

(ホームページ)